旭ヶ丘キリストの教会 主日礼拝順序

2 0 2 1 年 8 月 1 日

司会:千田俊昭 秦率:千田祥子

		奏楽:十	田 伴 于
黙 祷		_	回
讃 美※	聖 歌 617「 慕 い ま つ る 主 の 」	_	司
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)		
讃美	聖歌 653「イェスはわがいのち」	_	同
教会学校	紙芝居「やくそくのにじ」	牧	師
讃美	聖 歌 423「 罪 思 い 出 さ す る 」	_	司
聖書朗読	黙示録10:1−11		
類 励	黙示録の福音(第15回)	牧	師
主題	「もう時がない」	1/2	171
讃美	聖歌404「イェスは汝を呼び給う」	_	同
献金	献金と感謝の祈り		Įr.j
聖餐	10V 36. ~ 404 V) - VI /		
頌 栄※	聖歌378「栄あれや」	_	目
祝 祷※		牧	師
来週の箇所	エズラ記 第5章		

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。 しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。 むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と 誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。 聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より 大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです (2 コリント9:7)。 入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師に ご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、 ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース

《今週の歩み》



8 / 1 (日)聖日礼拝 / 2 (月) / 3 (火)

/3(火) /4(水)

/ 5 (木) 10:00聖書研究会

/6(金)

/ 7 (土) 13-16子供オープンハウス

《祈りの課題》

- ①コロナ禍の速やかな終息のために
- ②礼拝に来れなかった人々のために
- ③教会学校の子供たちも救われますように



「歴史と終末」

良書ハイライト

大住雄一「現代聖書講座第3巻 聖書の思想と現代」所収 (日本基督教団出版局,1996年)

一般的に定義するならば、終末論とは、世界の終わりに関する教説である。 歴史について何らかの価値判断が可能であり、また、なされねばならないと するならば、その判断は、歴史の終わりに立ってなされるのである。終わり を先取りして、そこから現在を位置づけるのが終末論である。

…そして、このような意味での歴史意識および終末論的問いは、聖書に登場する人々、聖書を書いた人々、書いた人々が予想した読者たちには**なかった** <u>場する人々、聖書を書いた人々、書いた人々が予想した読者たちには**なかった**</u> <u>と言わなければならない。</u>それならば、聖書は、このような現代の問いには 答えられないのであろうか。そうではない。問題意識は、確かに近代以降の ものであるとしても、歴史と終末という事柄の構造は、後述するように、 すでに聖書にあって、近代の歴史意識自体、理性によって神なしに事柄を捕 らえようとするものでありながら、…その基本的構造を、聖書的思考から ひそかに受け取っている。

…まず、終末論とは、世界の終わりに関する教説であるという一般的定義を、既に示した。しかしこの定義にとどまるならば、旧約には終末論は存在しないと言わざるを得ない。終末を表すギリシア語「エスカトン」に当てはまる語も、ヘブライ語には見当たらない。むしろ…ヘブライ語の時間関係は、ある時点から見て「それよりも前」と、「それよりも後」しかなく、「はじめ」と「終わり」も相対的なもの、一つの転換点に過ぎない。黙示文学の生ける終わりの目の表象も、たしかにイスラエル民族の終わりを越えて、が、諸相対ののの終末ではない。なれてではあるって、歴史とのものの終末ではない。「見よ、この怒りの時の終わりに何が起こるかをお前に示そう。」(ダニ 8:19)

…私たちは最後に、正典を形成したような、神の言葉への信頼と並んで、この黙示文学的終末論が新約聖書の信仰に影響を与えていることを確認しておきたい。「天地が消え失せるまで、律法の文字から一点一画も消え去ることはない」(マタイ 5:19)。終末論は、黙示文学の経路を通って、旧約文書後のユダヤ教とキリスト教において、歴史そのものの止揚としての性格を強め、文字通り「世界の終わりに関する教説」となっていった。そして新約聖書は、天地を創造し、歴史をつくり出す神の言の受肉としてのキリストにおいて、新しいアイオーン(時代)が到来したという信仰を形作ったのである。